

特別会計



平成23年度の決算では、左図のように10会計全てが収支均衡以上となっています。しかし、災害復旧事業などの災害関連経費の増加により一般会計からの繰入金総額は総額27億4,600万円、昨年度と比べ1億3,100万円増加しています。

今後とも各会計において、復旧・復興事業に取り組みつつ経営の効率化を図り安定経営を続けていきます。

事業	歳入決算額	歳入のうち一般会計からの繰入金	歳出決算額
交通事業	2億1,800万円	7,800万円	2億1,800万円
国民健康保険事業	70億8,000万円	3億8,100万円	69億6,800万円
魚市場事業	1億7,100万円	5,900万円	1億7,100万円
下水道事業	51億5,200万円	12億9,200万円	51億5,200万円
公共駐車場事業	300万円	300万円	300万円
漁業集落排水事業	6,800万円	1,600万円	6,800万円
公共用地先行取得事業	900万円	900万円	900万円
介護保険事業	43億8,500万円	6億3,200万円	43億8,500万円
土地区画整理事業	2億8,600万円	1億4,100万円	2億8,600万円
後期高齢者医療事業	5億2,600万円	1億3,500万円	5億1,600万円

病院会計



「改革プラン」の成果が
着実にあらわれています」

3年連続の黒字達成！

平成23年度は、「市立病院改革プラン」の3年目として、昨年度に引き続き多くの項目で目標数値を上回る成果をあげ、病院独自の単年度資金収支では、5,312万円の利益を確保しました。

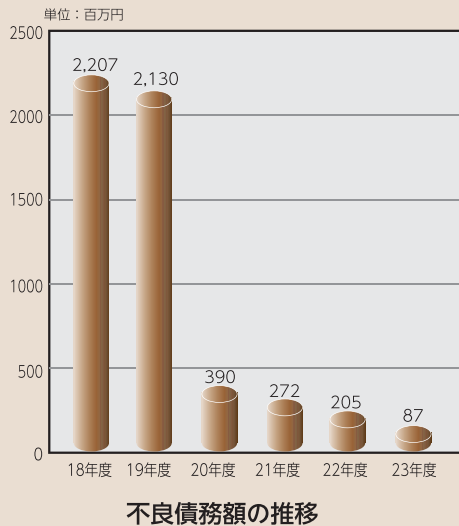
さらに経常収支でも黒字達成！

資金収支から減価償却費などを差し引いた経常収支においても317万円の利益を確保し、改革プランにおける最大目標を達成することができました。

不良債務が大きく減少！

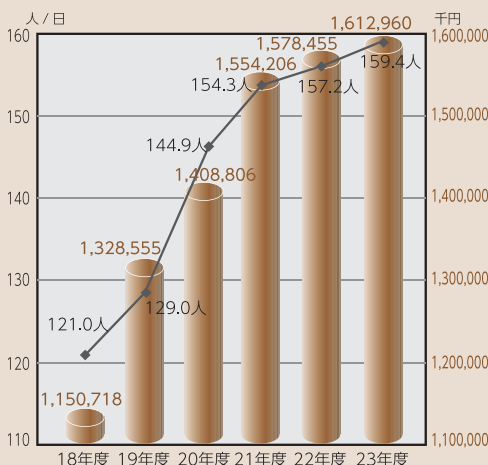
不良債務額は、前年度末の2億500万円から8,700万円に大きく減少しました。このまま順調に推移すれば、24年度末には不良債務を解消できる見込みです。

《着実に不良債務が減少しています》

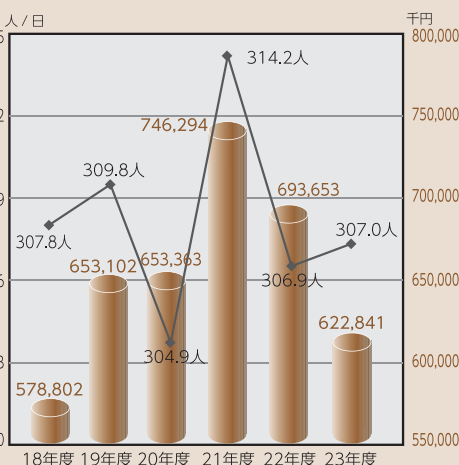


不良債務額の推移

《入院収益は伸びていますが、外来収益が減少しています》



入院患者数・入院収益比較



外来患者数・外来収益比較

入院の患者数・収益が伸びています

入院患者数は昨年度からさらに伸び、平成23年度は一日あたり159・4人、病床利用率99・0%とほぼ満床になっており、入院収益は改革プラン目標を上回りました。

外来患者数は昨年度とほぼ同水準となりましたが、昨年3月の震災の影響もあり、外来収益は改革プランの目標を達成できませんでした。